

チャペル週報

No.27

2016.1.6 ~ 1.25

見よ、新しいことをわたしは行う。今や、それは芽生えている。

あなたたちはそれを悟らないのか。

わたしは荒れ野に道を敷き、砂漠に大河を流れさせる。

(イザヤ書 43章 19節)



山川記念館

関西学院宗教センター

讚美歌が子守りうた

松 隈 協

母が召されてまもなく3年になる。私の母は、幼児教育、キリスト教保育の世界では有名人だった。テレビで講演会の宣伝がある程だった。それと引き換えに、母は家にあまりいなかった。私の家には、川崎のおばちゃんという当時は珍しい「お手伝いさん」がいた。授業参観も、スーパーまで手をつないで歩いたのも、川崎のおばちゃんだった。母を「先生」と仰ぐ人は「あなたのお母さんは家庭と仕事との両立のために無理をして、透析する程になってまで、あなたのことを愛していたのよ」と言われると思う。それは本当だろう。しかし子どもだった私は、さみしさの方が勝り、母の愛が分からなかった。子育て講演をしている母が特に嫌いで、さみしさが爆発した私は、母に「言っていることとやっていることが違うじゃないか」と泣き叫んだことがある。母は、泣き叫ぶ我が子に一言、「私の仕事は理想を語ること。理想がないとこの世界はだめなの」と言った。何も言えなかった。

母はどんな思いで子育てをし、どんな家族を作りたかったのだろうか。遺品を整理している中で、母が大切にしていた聖書の注解書に付箋がついてあるのを見つけた。そこに家族についてこうあった。「本来家族は、創造主なる神が御自身の子たちに、神のイメージを正しく伝達するために設定された最少の単位である。」母の作りたかった家族は、そのような家族だったのだろう。もう一つ、母が自身の人生を振り返って書いた文章にこうあった。「私の両親は共働きで、今の鍵っ子のはしりでした。（中略）子ども時代、私が母から学んだものは、理想の母親像ではなく、理想の教師像であったと思います。けれども子育てを終えた今、考えてみると、私もいつの間にか母と同じような子育てをしていました。もし私に母を超えるものがあつたとすれば、それは多くの歌や物語に加えて、讚美歌を子守りうたにし、聖書のお話を子ども達に語り聞かせたことだと思います。三人の子ども達は幼い時から神さま、イエスさまを友達のように身近に感じて育つことができました。」母は私に讚美歌を子守りうたに、聖書のお話を寝物語にして、神のイメージを伝達してくれた。親子らしい思い出は少ないが、確かに私は神のイメージを受けとった。

昨秋、私の二人の娘が洗礼を受けた。母が伝達してくれた神のイメージが、娘たちにも確かに伝達された。

(高等部宗教主事)

☆チャペル・スケジュール☆

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

1月6日(水) 阪神・淡路大震災メモリアル合同チャペル (上ヶ原キャンパス)
メッセージ: Jeffrey Mensendiek (宗教センター宗教主事)
場所: ランバス記念礼拝堂
聖和田 淵 結 (教育学部宗教主事)
理 ALL讃美歌プログラム(1)
総 久保田 哲 夫 (総合政策学部教授)

1月7日(木) 神 震災を覚えて礼拝㊦ メガホンプロジェクト
文 Andreas Rusterholz (宗教主事)
社 新年を迎えて 加納 和寛 (宗教主事代行)
法 公現祭 Christian Morimoto Hermansen (宣教師)
経 Last English Music Chapel Timothy Dale Boyle (Missionary)
商 福田 典子 (商学部職員)
国 English Chapel Eun Ja Lee (Missionary)
聖 飼い葉桶のあかちゃんの「それから」
小 栗 献 (日本基督教団神戸聖愛教会牧師)
総 Paul Hays (総合政策学部教授)

1月8日(金) 院 Jeffrey Mensendiek (宗教センター宗教主事)
神 本山 真名 (神学部3年)
文 English Chapel Andreas Rusterholz (Chaplain)
経 「経済と倫理(最終回)」山鹿 久木 (経済学部教授)
人 室田 保夫 (人間福祉学部長)
聖 教育学部で学んで 鯛島 慶大 (教育学部4年)
寺川 桃代 (教育学部4年)
理 ALL讃美歌プログラム(2)

1月12日(火) 神 シリーズチャペル 私にとっての世界市民とは 土井 健司 (神学部長)
文 Andreas Rusterholz (宗教主事)
社 学年度末にあたって 荻野 昌弘 (社会学部長)
法 「すべてを照らす光として」梶原 直美 (関西学院大学非常勤講師)
経 卒業生を覚えて 田中 敦 (経済学部長)
商 寺地 孝之 (商学部長)
国 宮田 由紀夫 (国際学部教授・学生担当学部長)
聖 和田 淵 結 (教育学部宗教主事)
理 ALL讃美歌プログラム(3)
総 村瀬 義史 (宗教主事)

1月14日(木) 聖和 私の命の使い方 広渡 純子 (聖和短期大学教授)

1月15日(金) 聖和 わが道は、あなたがたの道とは異なっている
Michael G. Skelton (教育学部教授)

1月18日(月) 聖和 聖書物語 イエスは生きている、聖霊降臨

1月25日(月) 聖和 保育実習にかかわって 前田 佳代子 (聖和短期大学准教授)

◇ランバス早天祈祷会 毎金曜日 8:20～8:40 ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)
1月8日(金) 卒業する学生のために 細川 正義 (文学部教授)

●**阪神・淡路大震災記念合同チャペル**

メッセージ:「忘れない」 Jeffrey Mensendiek(宗教センター宗教主事)

と き: 1月6日(水)10:35~11:05

ところ: ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)

主 催: 関西学院大学

●**大阪梅田キャンパスチャペル**

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アプローズタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、大学院授業期間中の毎週木曜日にチャペルアワーを開催しています。(17:50~18:20 1405教室)

1月7日(木)「新しい年を迎えて」 山本 俊正(院長補佐)

14日(木)「学期末を迎えて・阪神淡路大震災を覚えて」 田淵 結(宗教総主事)

●**夕べの祈りatランバス~テゼの音楽とともに~**

ろうそくの光を灯して、テゼの歌を歌いながら、皆でこころ静かに過ごす夕べの祈りのひとときです。どなたでもご参加ください。

第6回 1月7日(木)18:30~20:00

ところ: ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)

主 催: 夕べの祈り準備会(学生有志)

協 力: 関西学院宗教活動委員会

●**チャペル・オルガニスト卒業演奏会**

各学部チャペルをはじめ各種式典などでオルガン奏楽を務めるチャペル・オルガニストから本年度8名が関西学院大学を巣立ちます。それぞれの学生時代の思い出を胸に、これまでのレッスンと練習そしてチャペルでの経験すべてをこの日の演奏に託します。

どうぞご来場いただき、学生時代最後の演奏に拍手をお願いいたします。

と き: 3月5日(土)14:00~

ところ: ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原キャンパス)

●**CD・DVDライブラリー**

吉岡記念館事務室宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCDやDVDを備えています。本学学生及び教職員(学生証または身分証明書必要)であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までお越しください。

●**使用済み切手収集にご協力ください**

本学では日本キリスト教海外医療協会(JOCS)切手部の活動に協力し、使用済み切手の収集をしています。通常切手も対象としていますのでどうぞ吉岡記念館常設の回収箱にお届けください。

●**盲導犬育成のためご協力お願いします**

関西学院宗教活動委員会は、目の不自由な方々の社会参加促進を願い、社会福祉法人「日本ライトハウス」の募金活動に協力しています。吉岡記念館事務室はじめ各学部カウンターに募金箱を用意しておりますので皆様の温かいご協力をお願いいたします。

●**今号が本年度「チャペル週報」の最終号です**

2016年度は4月7日(木)からの発行となります。新年度のチャペルや宗教センター、宗教活動委員会、吉岡記念館主催の催し物などのご案内をしております。また瞑想欄では、教職員の方々によるメッセージやエッセイを掲載しますのでご期待ください。